



自治体の政策形成研修

～政策課題解決人材を育成する～

今後、地域がその特性を活かし、独自の地域経営を展開するためには、自治体職員の政策形成能力の開発・強化は重要な経営課題の1つです。特に協働による地域問題解決プロセスにおいて主体的な役割が期待される自治体職員は、従来の活動重視型ではなく、環境変化に適応しながらアウトカム重視型の政策形成能力の発揮が求められます。

ねらい

政策形成(企画)能力と説明責任能力の強化

目標

- ①地域の問題を解決するための政策形成の考え方・進め方を理解します。
- ②成果実現に向けた政策形成を支える基礎スキル・手法の習得を図ります。
- ③地域の問題を解決する政策を立案し、政策提案書としてまとめます。
- ④政策提案書を経営幹部への発表と質疑応答を通じて提案内容の共有を図ります。

対象

中堅職員

(各部から推薦を受けた者及び希望者)

基本
方針

1

地域ビジョン実現を重視

1 地域の課題を設定

地域が直面している（または、将来直面する）重大・深刻な課題設定から始める。

2 地域の実態に即した分析・評価

地域の現状把握、状況分析を行うとともに、既存施策の評価を行い、実態に即した方策につなげる。

3 地域の課題を解決する対策策定

課題を効果的、効率的、かつ実現可能な解決できる対策を策定する。

2 政策形成に必要な 基礎スキル開発・強化を重視

目的志向の 問題解決スキル

手段ありきの問題解決ではなく、問題を解決する(目的)ためのアウトカム志向の問題解決スキル。当スキルは政策形成プロセス(PDCA)マネジメントスキルであり、特に重要な政策策定における「①問題・課題設定」、「②現状・原因把握」、その上で「③対策立案」、「④実施計画策定」というステップの重要性の理解と実践スキルを含む。

論理的思考 (ロジカルシンキング)

根拠に基づき、筋道立てて考え、意思決定し、表現するスキル。政策形成では過度な経験重視や思い込みによる意思決定を避けることの重要性を理解すること。また、多種多彩な情報を論理的に整理し、体系化し、表現するために論理的思考の考え方をういて論理的構造化(例:ロジックツリーなどによる可視化)の手法活用スキルも含む。

プロジェクト マネジメントスキル

多彩なメンバーの参画によるプロジェクト目標を実現するためのプロセスマネジメントスキル。チームビルディングスキル、スケジュール・モニタリングスキル、ステークホルダーマネジメントスキルも含む。

説明責任の コミュニケーションスキル

コミュニケーションの目的(例:承認)を果たすために、自分の考えが第三者に伝わり(伝えるのではなく)、共有するコミュニケーションスキル。プレゼンテーションにおいては、質疑応答を伝える機会に活かすスキルも含む。

協働の コミュニケーションスキル

コミュニケーションの目的・目標実現に向けて、参加者の考えを共有し、目的志向でコミュニケーションするスキル。参加者の多彩な意見を理解(傾聴の目的)し、それぞれの共通点と相違点を区別し、論点を目的に絞り議論を進めるようにグループ討議におけるコミュニケーションスキルも含む。

3 地域の課題を解決する 戦略ストーリー創りを重視

戦略ストーリー化

政策形成の核となる「①問題・課題設定」、「②現状・原因把握」、「③対策立案」、「④実施計画策定」の基本ステップを着実に進めるとともに、それらにつながりを持った戦略ストーリーの構築を重視する。

内容を磨く3つの視点

課題設定では「重大性(深刻性)」、対策案では「効果性、効率性(成果対費用)」及び、「実現性」の観点から説明責任を果たすことを重視する。

研修内容 ① 基本的進め方

受講生個々人の事前課題、講義・演習、グループ研究を進める。

1 事前課題

個人別に総合計画・個別計画等を中心に市の方向性、課題についての文献、情報を読み取り、各自の問題意識を事前に整理する。

2 講師による講義・演習、グループ研究

集合研修を以下の5回行う。

	1日目	2日目	3日目	4日目	5日目
	6月下旬		8月中旬	10月中旬	12月下旬
テーマ	導入研修		グループ研究状況確認と指導		
AM	講義・演習	講義 グループワーク ○研究テーマ案 ○テーマ選定理由 ○政策課題 ○研究活動方針	グループ別発表 ○政策課題 ○現状分析結果 ○今後の活動計画	グループ別発表 ○政策課題 ○課題解決の方向性 ○今後の活動計画	グループ別発表 ○最終報告内容
PM	講義・演習	グループ別発表 ○発表と質疑応答 ○講師コメント グループワーク	グループワーク	講義 ○プレゼンテーション グループワーク	グループワーク

3 グループ研究の進め方

導入研修後は、グループ毎に研究活動を行い、その活動成果を3回目以降の集合研修で発表し、研究内容を固めていく。

4 グループ研究への講師による指導、アドバイスについて

基本的アプローチ

グループ研究においては、グループの考え(想い)を重視しながらも、一人ひとりの考え、グループ内ディスカッションを可視化しながら整理し、論点の共有や不足点への気づきを促し、次の活動につなげるアプローチを行うことで、各メンバーが主体的、自律的な研究活動に取り組む環境をつくる。

集合研修以外での指導、アドバイス方法

集合研修以外においては、基本的にメールを活用し、グループからの成果物・検討項目・質問に対して、講師からの指導、アドバイスをフィードバックする。

研修内容 ② 導入研修の概要

1日目

時間	項目	概要	進め方
9:00	研修の目的・目標	① 研修全体の目的 ② 導入研修の位置づけ、目標・進め方	講義
9:20	地域課題解決と政策形成	① 地域経営に求められる政策形成 ② 政策の構造 ③ 政策形成サイクル	講義 グループ演習 全体討議
10:30	政策形成に求められる 問題解決スキル	① 問題解決プロセスマネジメント ② 問題解決のコミュニケーション ③ 論理的構造化	講義 グループ演習 全体討議
13:00	政策形成の考え方・進め方	① 政策立案の考え方 ② 政策立案プロセス ③ 政策形成プロセスの留意点	講義 グループ演習 全体討議
16:00	政策形成に求められる 戦略・マーケティング	① 戦略と環境分析 ② セグメンテーションの活用方法 ③ マーケティングミックスの活用方法	講義 グループ演習 全体討議

2日目

時間	項目	概要	進め方
9:00	プロジェクトマネジメント	① プロジェクトマネジメントの考え方、進め方 ② 活動計画作成の進め方	講義
10:00	政策形成プロジェクト企画構想	① 企画の目的・目標 ② 企画の構成 ③ グループ別企画構想検討	講義 グループ演習
14:00	企画構想の報告	① グループ別発表 ② 質疑応答、講師コメント ③ グループ別による改良	グループ別発表 質疑応答 グループ演習
16:45	研修のまとめ	① 導入研修のまとめ ② 次回以降の予定	